

松本市基幹相談支援センター会議・研修会報告

会議・研修会名 令和８年度 第３回支援研究部会	開催日：令和８年８月１７日（月） 時 間：１０：３０～１１：４５
参加者構成機関名 ケ・セラ社会福祉士事務所、第２コムハウス、障がい者相談支援センターあいほっと、障がい者相談支援センター中信、松本市社会福祉協議会グループホーム水汲、結いの街、松本市こども発達支援課 松本市障がい者基幹相談支援センター(事務局) 計１０名	

会議内容

１．各連絡会からの報告

（１）強度行動障がい児者等支援検討プロジェクト

６月３０日（火）に令和８年度第２回強度行動障がい児者支援検討プロジェクトが行われた。「やさしいマップ」は来年度公開予定。

（２）グループホーム事業所連絡会

世話人対象と管理者対象で、２回の連絡会を予定している。運営のことやカスタマーハラスメント対策について行いたい。

（３）生活介護事業所連絡会

支援員対象で開催予定。開催通知はこれから発送する。思いや悩みを出し合う。

（４）居宅介護事業所連絡会

７月に開催予定だったが、閉所になった事業所のご利用者の対応に追われてできなかった。再度計画をしていく。依頼を受けてもその方にそのサービスが本当に必要なのか、ここまで事業所が支援しているのか等、疑問に思うことがあるので、連絡会でも考えていきたい。

（５）医療的ケア児者等支援事業所連絡会

毎日の活動内容や困り感について話し合う。また、今後の連絡会についても検討する。

（６）インクルーシブセンター

性教育について、各学校や支援学校に講師を派遣して生徒に話をするシステムがある。どこが行っていくのか検討中である。

（７）その他

カスタマーハラスメント対策について

- ・暴力や監禁に近いもの等、特に高齢の分野で多いという話もある。カスタマーハラスメントの法制的義務化もあり、指針を作成しないといけないと思っている。
- ・カスタマーハラスメントと虐待は紙一重のような気がする。わざと嫌がることをやるご利用者もあり、それをすべてハラスメントにすると支援の入り口に立てなくなる。ハラスメントにしない為の支援はどうすればよいかを考えていくことが大切だと思

う。

2. シンポジウムについて

令和9年2月5日（金）午後に松本市総合社会福祉センター4階大会議室で開催予定。詳細は今後の部会で決めていく。支援現場で起きている事例から、発達保障やカスタマーハラスメントにしない為の支援についても考えられる内容もよいのではないかな。

3 その他

次回の部会では、シンポジウムの講師や内容について、案を持ち寄り検討するので、それぞれ準備をし参加する。

以上

